



大妻同窓会 広島世羅だより

第8号

発行責任者 伊藤 妙子

大妻コタカ記念会会长挨拶

オバマ大統領の広島訪問は、まさに歴史的な出来事として私たちの胸に残りました。その平和公園にほど近いメルパルクでの広島・世羅の総会に伺い、皆様の元気なお姿に接し、和やかな楽しい時間を過ごさせていただきました。年代を超えて大妻で学んだ方々、特にこの広島・世羅にはコタカ先生の近くにおられた方も多く、それぞれの大妻での思い出をお聞きすることは大変興味深く、大妻コタカ先生のお姿が彷彿と/orました。



会長
井上 小百合

教えていただいた詩吟も初体験の私は、なかなか思うような節回しができずじまいでしたが、コタカ先生が晩年になっても張りのある朗々とした声でお話になっていたのは、この詩吟をたしなんでおられたからかと得心いたしました。

皆様お世話になり有難うございました。お土産にいただいた袋は重宝しております。

大妻同窓会 広島・世羅代表挨拶

会員の皆様、今日は！お元気でお過ごしでしょうか。今年は総会が例年より遅く7月の開催となり、そのため後半をやや忙しい思いで過ごして参りました。とりわけ天候に関しては、これまでに経験したことのない熱暑の夏や豪雨、さらに強烈な台風の発生など、大自然の為せる業とは言え、そこには「地球温暖化」など私たち人類の活動がもたらした「人災」の面も含まれており、今から私たちに出来ることは何かを真剣に考え実行して行かねばなりません。一方で、この夏は、リオのオリンピック・パラリンピックが数々の感動と教訓を与えてくれました。同時に「オリンピックで大切なことは、勝つことではなく参加することである。」という言葉をもう一度思い起こす必要を感じたのでした。では今年の残された日々が皆様にとって穏やかで幸せなものでありますよう願いながら結びとさせていただきます。



代表
伊藤 妙子



平成28年7月3日(日) ホテル メルパルク広島にて



総会後の懇親会

(写真：詩吟・大隅百合子)

7月3日、「メルパルク広島」にて懐かしい方々とお会いすることができました。「ごもくめし」にも書かれておりますが、以前より伊藤代表様よりお母様がご自宅で詩吟の勉強会をなさっていて、特に「静御前」が思い出深いとお聞きしておりました。「静御前」の和歌を全員で吟じてお母様にお捧げすることになりました。数回練習し、お母様に届くように皆様が真剣に吟じて下さり、実際天国からお母様が私の頭上まで下りて来て聴いて下さっているような不思議な感覚がありました。「お母様！」と途中思わず声を掛けておりました。「恥を知れ」の格言は、私の人生のすべての場面で生きております。気さくで偉大なるお母様の許で学ばせて頂いたご縁に深く感謝致します。

(昭和43年卒・家政学部短大被服科)



大隅 百合子

皆様、ごきげんよう。去る7月3日、広島・世羅支部の総会が広島市内中心部で行われました。お話の中心は、いつもお母様のエピソードです。諸先輩方がご存知のお話は毎回違っていて、お母様の人となりを伺う楽しみな時間です。私は、昭和50年入学です。直接お母様のことは存じ上げないので、「中学から大妻生」の同級生は、よく「お母様」と言つており、少しずつ馴染んで来ました。大学卒業後お母様を意識しましたのは、助手として勤務した時です。研究室のあった通称「銀館」の地下、大きなお写真の前で作法等を習った時でした。優しいお顔は今でも心に残っております(最後に、私の師より伺ったお母様のお言葉です—「お皿に残ったメロンのお汁は全部いただきましょう。…」と。)

(昭和54年卒・家政学部被服科)



藤井 朱美

木谷地域で取り組まれていることをご紹介しましょう。

「ただいま」「おかえり」…この言葉からどんなことが想像されますか？

賑やかに子ども達が集まっています。安芸津町木谷地域センター主催の「放課後子ども教室」の情景です。隣接する木谷小学校全児童 58 人中 35 人の子ども達と地域のボランティアの皆さんで、毎週木曜日、午後 3 時～5 時の楽しいひと時を過ごします。

まず、全員で 45 分間、宿題をすませます。その後、2 つのグループに分かれて活動します。ゴルフを趣味とする男性ボランティア指導のもとスナックゴルフに参加します。場所は竹原市瀬戸内ゴルフリゾートです。教室に残る子は、読書をしたり、手芸や外遊びをして過ごします。時には全員で消火訓練や人権学習も採りいれています。夏休み・冬休み・春休みには、勉強だけでなく、ソーメン流し・クリスマス会・お別れ会も楽しみな行事の一つです。大切な地域の子ども達が、健やかに成長してくれるこ

れを地域住民、みんなが願っています。



こんなあたたかな地域の皆様に見守られて育っていく子どもたち、本当に幸せですねー。

東山魁夷展

同窓生と共に、広島県立美術館へ東山魁夷展を鑑賞に行きました。故郷の景色を、終戦後眺めた時、自分と自然が一体化した感動を覚えてから独特の自然観が生まれたようです。絵は、「朦朧体（もうろうたい）」という技法で、優しい霧囲気の中でも躍动感があります。積雪の絵は、白い雪がたった今舞い降りてきたような不思議な質感を覚えます。唐招提寺御影堂障壁画では、18枚の襖絵に囲まれた臨場感は、しばし時の流れを忘れ、来て良かった、逢えて良かったーと思いました。そして「夕星」の前に立った時、吸い込まれそうな感動を覚えました。自然と生命が一体となっている尊さ、90歳に成られての絶筆でした。どの作品も、心が洗われるものばかりで、充実した時間を過ごすことが出来ました。

【奥本 芙美枝】



夫々の小物づくり

平成 28 年 9 月 29 日、三原市本郷生涯学習センターにおいて「支部だより」の準備と「サンタクロース」の折り紙。少し立体的でかわいいサンタクロースがいくつか完成しました。素晴らしいプレゼントが届きますように！



ミシンで製作した小袋。総会に出席された方全員に 2~3 個プレゼント。
喜んでもらえたかな？



お知らせ

●年会費 東京への振り込み（2,000 円）支部（1,000 円）の会費を下記へよろしくお願ひ致します。（会計年度 4 月 1 日～3 月 31 日）

記入事項 姓名（旧姓も）、郵便番号、住所、電話番号、卒業年月、科、組、生年月日

平成 29 年度 広島・世羅総会の予定

来年度の総会は、東広島市です。友達に声をかけ合って一人でも多くのご参加を願っています。

平成 29 年度広島・世羅総会は、東広島を中心とした方々の計らいで開催予定です。ご参加をお待ち申し上げています。学園都市、サイエンスの町、米と良質の水を生かして、銘酒も数々あります。安芸津町では、馬鈴薯が有名です。

コロッケ・カレー・サラダ…日々の料理に欠かせない野菜、じゃがいものお話をチョット。

甘藷（さつま芋）より早く、オランダの船でジャワ島（インドネシア）のジャカルタから長崎・平戸に伝えられた。ジャガタラ港から來たのでジャガタラ芋と呼ばれていたが、今ではじゃがいもと言われるようになった。長野県嬬恋村では、じゃが芋から澱粉を取り、それを熊よけの鈴を付けた馬で峠を越え、信州へ運んでいた。その様子から馬の鈴の芋…馬鈴薯と言われるように成了ったとも。

春五月下旬、瀬戸の島々を背景に白い可憐な花を付けるじゃが芋畑はとても美しく、心豊かにしてくれます。



馬鈴薯畑（可憐な白い花）

編集後記

原稿依頼を快く受けてくださいました井上会長様はじめ、皆様のご協力のお陰で無事 8 号を発行する事が出来ました。不慣れなことで行き届かぬ点もあると思いますが、お許しください。

【伊藤 妙子・奥本 茉美枝】